

古河電工産業電線株式会社

Corporate Profile



沿革と事業推移

精銅と電線の2つの事業で出発した古河電工は、「絶え間ない技術革新による、豊かな社会の実現」をめざして、多様化するニーズに応え続けてきました。

当社は、前身の三和電線製造所を設立した1932年から積み上げてきた電線技術と、古河電工グループの一員となって獲得した技術と伝統を融合させ、一貫して産業用電線事業で社会のニーズに応えています。



九州古河電工株式会社の産業用電線事業の分割を受け、これを統合

FEIC

技術
開発

お客様の期待に応える製品とは

素材レベルでの改良とともに、
「現場作業性の向上」にも取り組んでいます。

品質

常に信頼できる製品であること

高度な安全性と確実性を求められるからこそ、
品質のためにすべきことを徹底しています。

製造

「安全第一」は「人間第一」

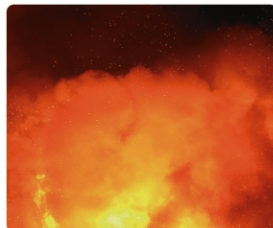
働きやすい環境は安全性だけでなく、
品質や生産性をも向上させる。



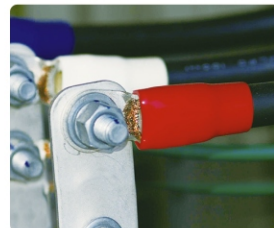
建築・建設



工場・プラント



防災・安全維持



電気機器用



放送・情報通信

九州工場



古河電工で100年、FEICで10年と歴史のある工場です。ゴム系を中心とした低圧から特高圧までの製品を製造しており過去から未来へ常に社会に貢献し、顧客満足度をさらに向上させたいと日々チャレンジしています。

敷地面積：68,116㎡

主要製品：EM-LMFC、EM-FCC、耐熱電線、キャブタイヤケーブル

平塚工場



1966年に操業を開始して以来、常にお客様に育てられて、成長と変化をしてきた工場です。もともと低圧被覆電線の生産から始まりましたが、培ってきた被覆材料や製造技術・設備技術などを基盤に、現在では数多くの機能電線や接続部品なども生産しています。

敷地面積：70,470㎡

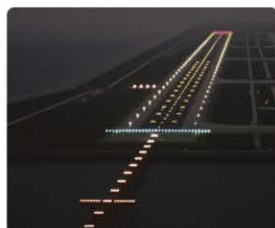
主要製品：PV-CQ、TVカメラケーブル、火災検知線



鉄道・車両



電力・エネルギー



航空施設



造船・港湾



工事関連部材